

※本リリースは、(株)ファンケルおよびキリンホールディングス(株)から、同内容にて各報道機関へ配信しております。

**FANCL**  
正直品質。

よろこびがつなぐ世界へ  
**KIRIN**

報道関係者各位(研究情報)

2020年11月4日

## — 国内の化粧品業界で初採用※1 — ペットボトルのキャップを再生し、化粧品の容器に利用 ファンケルグループとキリングroupが協働 プラスチックの循環を推進

株式会社ファンケル(本社:神奈川県横浜市/代表取締役社長 CEO 島田和幸 以下ファンケルと表記)は、キリンホールディングス株式会社(本社:東京都中野区/代表取締役社長 磯崎功典 以下キリンと表記)との間で、2019年の資本業務提携を契機にさまざまな共同開発を進めています。

両社の環境保護に関する取り組みの一環で、キリングroupのキリンビバレッジ株式会社(本社:東京都中野区/代表取締役社長 堀口英樹、以下キリンビバレッジと表記)において、ペットボトル入り清涼飲料の生産時に排出されるキャップを再生樹脂に加工した素材を、ファンケルのグループ会社である株式会社アテニア(本社:神奈川県横浜市/代表取締役 斎藤智子 以下アテニアと表記)の化粧品容器の一部に採用することをお知らせします。

なお、ペットボトルのキャップ由来再生樹脂を化粧品容器に採用することは、国内の化粧品業界で初めての取り組みとなります。

これによりキリンビバレッジはペットボトルのキャップの約3~4割を再利用することができ、廃棄物による環境負荷を低減することが可能となります。またアテニアにおいては、再生樹脂を採用することで、従来本製品に使用していた新規プラスチック量の約40%を削減することができます。

### <詳細について>

アテニアは環境を配慮し、ボトルタイプに比べて樹脂量を約85%削減できるフィルムパウチを使ったクレンジングオイルのレフィル製品「スキんクリア クレンジング オイル <エコパック>」を販売しています。今回さらなる環境への配慮を踏まえ、右写真の赤丸部分であるポリエチレン製「スパウト部(※2)」に、ペットボトルのキャップ由来再生樹脂を採用しました。

再生樹脂の製造方法は、キリンビバレッジが選別回収したペットボトルのキャップの印刷を専用の機器で除去、粉砕してフレーク状(※3)にします。その後、溶解、混合してペレット状(※4)にします。さらにこのペレットを溶解し、色素を加えて再生樹脂にしたものを成型して完成させます(次ページ図参照)。

再生樹脂として使用するには、キャップの選別や印刷の除去工程などに手間がかかりますが、化粧品容器メーカーなどの協力を得て国内の化粧品業界では初の試みとして実現することができました。



## <製品化までの工程>



## <背景と目的>

ファンケルとキリンは資本業務提携後、SDGsへの貢献を含めた環境配慮の観点を持った容器や包装資材の設計や生産で協業できることを積極的に検討しています。その中で、ペットボトルのキャップを大量生産する際の初期段階や生産中、また製造する製品の切り替え時に、そのまま利用できないキャップが排出されることに着目し、この樹脂を再利用して化粧品容器への採用を検討しました。再利用に向けては数点の課題を要しましたが、それらを解決して製品への応用に成功しました。



## <今後の展開>

今後もキリンビバレッジで排出されるペットボトルのキャップについて、ファンケルグループのポリエチレンを使用した製品パーツへ応用することを検討していきます。また、これだけでなくファンケルグループとキリングループ各社の製品特性などを生かし、さまざまな視点で環境影響に対する取り組みについて検討を進めていく予定です。さらには、容器の設計や材質の開発などについても、両グループのこれまでのノウハウを融合し、環境負荷の低減に向けた研究や技術開発を進めていきます。

### 【用語説明】

※1 ファンケル調べ

※2 スパウト部

英語では「飲み口」と訳されるが、フィルム容器や紙パックなどに別で取り付ける吐出口のパーツのこと。

※3 フレーク状

プラスチックを8mm角ほどの大きさに粉砕したもの。主にプラスチックの破碎品の事を指す。プラスチック製のペットボトルのキャップを破碎・洗浄し乾燥させ、原料化する前の段階を指す。「フレーク」は「薄い片」を表す言葉。

※4 ペレット状

粉砕したフレークを溶かし、均一の品質にして小さな粒状に成型したもの。運搬・貯蔵がしやすく、加工性もよくなる。「ペレット」とは「丸薬」を意味する言葉。

### <本件に関する報道関係者の皆様からのお問合せ>

株式会社ファンケル 経営企画室 広報部  
神奈川県横浜市中区山下町 89-1 TEL:045-226-1230  
<https://www.fancl.jp/laboratory/>

キリンホールディングス株式会社 コーポレートコミュニケーション部  
東京都中野区中野 4-10-2 中野セントラルパークサウス TEL:03-6837-7028  
メールアドレス [kirin-cc@kirin.co.jp](mailto:kirin-cc@kirin.co.jp) キリンホームページ [www.kirin.co.jp](http://www.kirin.co.jp)